

川柳マガジンクラブ東京句会 11月

平成22年11月14日(日) 駒込学園にて

参加30名 出席23名 投句7名

秋山和子、伊藤三十六、ELVIS、小倉利江、小野六平太、加藤品子、加藤ゆみ子、菊地順風、甲野竜雄、河野桃葉、佐道 正、白子しげる、白勢朔太郎、関 玉枝、星野睦悟朗、丸山芳夫、水野絵扇、村田倫也、高田以呂波、渡辺まもる、山田こいし、松橋帆波、植竹団扇
欠席投句
石田きみ、飯島圭子、萩原ともよ、
正木三路、渥美恵泉、榎瀬くんじ、ヨモギ

自由吟句評会

うとんじゃ駄目なんですか？ 品子

運舩議員を思い浮かべた。六平太
事業仕分けの二番じゃ駄目なんですかの運舩議員をもじっている。ここに「うとん」を持ってきている。この作品は11音字しかない。十四字詩ですらない一行詩。しかしそれゆえに「うとん」が迫力を持って読むものの眼前に現れてくる。一行詩のつもりで詠まれたのだろうか。EVS川柳は五七五しか知らないの、これは試しているのか試されているのか。こいし
事業仕分けのシーンだろうが、そばでは駄目なんですか。 ゆみ子

「二番」と「うとん」なので「そば」では駄目なのだろう。しかしこれでは何でもありになるのでは。米原を境に「そば・うとん」「うとん・そば」の順序が変わる。正
とても面白いのですが、十一字じゃ駄目なんですか。 三十六

後三音字あって十四字ならばと思うが、間違えて持ってきた出前の人に怒られているようで、ちょっと納得がいかない。竜雄
全く解らない。どうしてそばでは駄目なのだろう。和子
「そばより」「うとん」の方が間抜けな感じがするからだろう。芳夫

「スパゲティー」なら十四音字になるが、それでは意味がないのだろうか。団扇
個人的なことで献立のうとんに文句を言われた。定型かどうかは置いておいて「川柳性」というものについて考えさせられる。帆波

「？」も音として読むのではありませんか。玉枝
作者 ふざけているとか思われるかと思っただが、そばに拘りがある人はうとんを否定するので、うとんでは駄目なのかという思いと、運舩議員のことを思い浮かべて作り
ました。

何もかも上司につげる友がいる 竜雄

一見すると嫌な内容の句だが、考え方を变えて、自分の周りにスポークスマン、宣伝係がいると思えばいいこともかも知れない。まもる

どこの職場にもこういう人がいます。私も苦しい思い出があります。作者も同じ思いをしてこられたのだろう。 桃葉
友という人間関係の幅を考えさせられる作品。帆波

作者 勤めていた時、初めて友達になった人がいた。時間が経つに連れ、話が上司に筒抜けになっている。それから自分からコントロールしながら彼と付き合っていた。学校ではこういう人間関係はない。自分を厳しく、社会に出たという事を教えてくれたのだとありがた
く思った。今もありがたく思っています。

生きてれば逢える遙かな人を恋う きみ

解釈に迷ったが、いい句だと思います。長生きすれば思っている人に会える。というのと、先方が亡くなっているかも知れず「生きていれば」という意味かもしれない。

しげる

作者自身が生きていけばという意味では。団扇
「生きてれば」は「生きておれば」「生きていれば」の意味。上五が一音多くなっても、そのように表記したほうがいいのではないか。朔太郎

作者 常日頃尊敬してる方にお逢いしたいと思いつているうちに、ふっとチャンスに恵まれて、お逢いして来ました。永い間念願していた時の句です。

退職辞令まるめて覗くあかね雲 朔太郎

気持ちがよく判る。夕暮れの雲を見ながら自分のこれからの人生を考えている侘しさを感じる。 絵扇

退職辞令というものがあるのかどうか判らないが、それを丸めて覗くというユーモア。明日はいいことがあるだろう。

睦悟朗

明日から自由になるという喜びを詠んだのでは。茜雲が朝なら希望に溢れていて明るく、夕陽ならなんとなく不安を感じる。茜雲の使い方が面白い。まもる

季語を使った作品が今回は多かった。この作品は俳句としても通用するのは。倫也

退職辞令も所詮一枚の紙切れ。丸めて覗くというところを開き直った明るさを感じる。 順風

退職という一つの節目をさざりりと読んでいていいと思います。こいし

退職辞令というものを聞いたことがないのですが。正
作者 退職辞令はございます。どこの職場にもとは言えませんが、公務員には採用辞令と同じく退職辞令があります。

退職して寂しいという感じがなく、にこやかにしておられる人がいた。その方がそれを丸めて空を覗き見している光景をみた。予断だが、昔の辞令は墨書きだった
が、今では印刷になっている。文面は「本職を免する」
です。

本当はまだ少しある高望み しげる

誰にでも思い当たること。共感しました。以呂波

全体の作品を読んでいて、自分がいない句が多いなどという印象を持っていた。この作品は自分がいるなと思う。

睦悟明

まだ高望みがあつて、それが少しあるという点がいい。今話題の九十九歳の詩人柴田トヨさんのことを思い浮かべた。ゆみ子

作者 歳だからという反面、まだやれるのではないかといい心境、ゴルフの飛距離が落ちてきたのだが、練習をして飛距離が伸びてきた。

鯛雲いつか乗る日の霊柩車 三十六

そついつ見方もあると思つた。黒い霊柩車が鯛雲によって浄化されているような印象を受けた。ゆみ子

鯛雲を眺めたときの彼岸への思いだろ。倫也

霊柩車に乗るときは自分はいない。そこをどう理解したらいいかなと思つた。先代の歌右衛門を詠んだ句で「歌右衛門桜吹雪に霊柩車」というのを思い出した。竜雄
作者 客観句であり、誰でも乗るものであります。鯛雲は動かせない表現です。

預かりの掲示入れ歯の落し物 以呂波

この会場のそばのお寺に貼つてある掲示だろつと思つた。非日常的だが事実。帆波

「遺失物取扱所の入れ歯」のような表現なら文芸として成り立つのでは。ELVIS

作者 句会の帰りに掲示を見て吹き出してしまった。忘れ物ではなく落し物とあるのが面白かつたのでそのままいただいた。

友が逝くもう語れない秋時雨 圭子

悲しくて寂しくて、秋という季節に淋しくなつた。和子
天候の話すらできなくなつたという切なさ。帆波

作者 今年は何りで亡くなる人が多くて、私もその年齢になつてきたようで、寂しく思つています。特に長年親しくしていた友人が、あつけなく亡くなり、なんでも話せる人で唯一の飲み友達でしたので、もっと話したかつたのに、また旨い酒を呑みに行きたかつたときと夫や母を亡くした時と、また違つた寂しさ悔しさを野辺送りの後詠んだ句ですが、上手く詠めません。

何かよいことがありそつのみ夢 三路

表記が「のみ夢」だったのでそれだけのついでに夢と捉えた。睦悟明

作者 近頃のよいことは、蚤の見る夢のように小さいもんですね。

栄養士免許味には無頓着 まもる

いかにもそんな感じで。栄養士がみな味に無頓着とはいわないが、どちらかといつとカロリーなどに重点を置くのは。六平太

調理師学校を出た子が板前さんに、「味がわかるのか」的なことを言われていた場面を思い出した。正

カロリーや油や甘味料とかで、味には無頓着というイメージが浮かんだ。順風

学校給食を思い浮かべた。予算が決まっているなかでカロリーや栄養素を重視するので奇妙な献立になる。帆波

大量の給食を賄つ栄養士さんの調理の感覚と、家庭の献立とは違つ。無頓着というのはそついつ別の次元という意味では。団扇

作者 調理師免許にしたかつたが字数の点で栄養士とした。カロリーや成分のみ勉強して味には無頓着というかわらん振りという感じなのかなという意味です。

くつきりと畦のボディコン曼珠沙華 ともよ

ボディコンと曼珠沙華がぴったりしている。目に鮮やかな作品。正

曼珠沙華をボディコンにぶつけたところがいい。ゆづ子
こつこつ比喩の作品が好きです。芳夫

作者 ボディコンが判らなかつた。六平太
作者 田圃の土手をふちどる赤い曼珠沙華がくつきりと美しかったです。

ミスリードした新聞の知らんぶり 正

最近新聞の社説のミスリードが批判されている。新聞はオピニオンリーダーであるのだが、それが全面的に信頼できない時代。それをうまく詠んでいる。三十六

三十六さんと同感。結果として事実が歪められていたとしても釈明がありません。最近では競つてミスリードしているかのような印象。予断だが、政党支持率は新聞社が独自に行つているものより、全国を対象に行っている調査を参考にしようとしている。朔太郎

煽るだけ煽つておいての、下五「知らんぶり」がいい。最近の川柳全体に言えるのだが、過去形の「した」という修辭が気になる。「ミスリードして」ではだめだろうか。芳夫

作者 厚生労働省の村木局長の報道を見て感じたこと。
秋晴れへ始発で向う登山靴 玉枝

いかにも朝起きていいお天気ですごく気持ちよく登山に行けるという気持ち。和子
あまりにも素直な句すぎる。倫也

作者 あまりにも素直な作品です。奥多摩に日帰りで行くには早起きしないといけないので。

動画から一部始終を見せられる 順風

今一世を風靡している出来事。時事としてとてもいいと思つていただきました。桃葉

作者 百聞は一見にしかずだと思ひました。

発想がマンガ カプセルで救出 六平太

先日の子の救出劇。いかにも発想が漫画的。一字明けが効いている。三十六

発想がマンガという意味が判らなかつた。ゆづ子
最初、漫画とカプセルが繋がらなかつた。裏にある意味を読み取れなかつた。朔太郎

作者 「漫画的発想」という表現と比較してみた。芳夫
あのような仕組みで助け出せたなと思つた。同じことが今後起こつても、同じように助け出せると思えない。

振り向けばママが手を振る鼓笛隊 和子

街のイベントなどで見かける子供たちのマーチングバンドの風景。帆船

作者 親は鼓笛隊の後を付いて行く。子供は親を探してキヨロキヨロして親を探すが、振り向いたときに見つけて喜んでいる。

押し黙る家族会議にボチ吠える 倫也

ぱっと見ていい句だと思った。仲直りをさせるためと見た。

絵扇

押し黙るのだから深刻な問題なのだろう。新としている中、犬の声が大きく聞こえみながハツとした風景。睦悟朗

深刻な話なのでしょう。いつもは賑やかな家族なのに雰囲気が違う。こいし

ソフトバンクのCMではないか？これからこういったバージョンが出てくるのでは。団扇

ソフトバンクのCMはボチではないのでは。まもる

作者 ソフトバンクのCMは好きですが、いつもとは違う深刻な家族会議の雰囲気の中、心配して吠えているという状況は面白いのではないと思いました。

迎え打つバットへボール点になる 桃葉

野球でバッターが調子がいいとボールが大きくみえると感じたことがある。この句の場合は点になってしまふ。その場面が、これは打てそうだという場面か、小さくなって打てそうにないという場面なのがわからない。芳夫
ボールは直線になって点になる。打ちやすくなると取ったが。まもる

作者 先日の日本シリーズロッテ戦を見ていて、長い延長戦になって、ボールが点になって打てなくなるのかなと思った。ある人にはこれは心象吟だといわれたが、別の方には選出された。

満州を再興したい人があり こいし

民主党のアジア共同体構想等を揶揄しているのでは。またその外交姿勢にも呼応しているのでは。満州を比喻として詠んでいるのでは。ELVIS

満州は日本が大陸に侵略しようというときに足がかりとして作った国。年配の人はあまりいい印象を持っていないのでは。竜雄

作者 レアアースがかつての満州地域でも採れるのではないかと、中国もこの辺りが欲しいのではと思って詠んだ。

正直な鏡を少し曇らせる 三毛ギ

面白い。正直な自分の気持ち、容姿。白雪姫のお婆さんの鏡を浮かべた。絵扇

自分のあまり好きでないところ、嫌なところを正直に写されたら嫌だなという気持ち。和子

上五の「正直な」という表現がいい。順風

「少し曇らせる」といつと「ころが気になりました。しげる」「少し曇らせる」が何かがある感じでいいです。朔太郎
ちょっと面白いなと思いました。六平太

表現は平易ですが奥深いです。ゆづ子

人間嫌でも年を取る。肌は弛むし目じりに皺が出る。そん

な気持ちが出ています。まもる

年寄りの気持ちか。長く生きてきて、ずっと正直に生きてきた。でも少し曖昧な部分があったほうが楽に生きられるのかな。そう思ったことを詠んでいるのでは。竜雄

作者 余りはつきりと私の心身を映さないでねという気持ち。・

敗戦の玉音という聴取率 芳夫

テレビの視聴率は十数パーセントで一喜一憂するというのが、ラジオの聴取率は50%くらいだったろうか玉音放送を持ってきたのがいい。昔なら不敬罪に当たったろうか。

ゆみ子

無季俳句で「玉音を理解せしもの前に出よ 渡辺白泉」があるが、当時の聴取率は高かっただろう。しかし理解していた人は少なかったのではないか。ゆづ子

作者 テレビの視聴率の高かったものは何かと色々考えてみた。もっと広げて考えてみたら玉音放送ができた。

8月の句はいろいろ有るが、みな同じようなものなのでこのようなのはごつたろうかと思った。

捨てるのも買うのも好きで生きづらい 睦悟朗

年を重ねると捨てるものばかり増える。ところが街を歩くと欲しいものばかり目に付く。玉枝

生きづらいといっているが、実は楽しんでおられるのでしよう。芳夫

捨てるのが好きなら、家も片付いていいと思う。何故生きづらいのか判りません。倫也

作者 エコ川柳という募集がある。何年も続けているので、似たような句が多くなっている。それを考えていた時、逆を考えてみようと思った。

八百屋さん松茸鎮座レジのきわ くんじ

レジのきわがいい。高いものなのでレジのそばに置いてある。品子

最近レジのそばにはつい買ってしまふような安いものが置いてある。今年松茸が豊作なので安くなったという意味では。まもる

作者 コメントはありませんでした。

もう一社受けて青空抱くつもり ゆみ子

もう一社受けて、受かる確率はないかもしれないが、受かった場合の思い。青空抱くつもりという表現がいい。

三十六

「青空」から前向きでめげずに頑張る印象を受けました。

しげる

受かった場合という意見がありました。受からなかった場合は農業、つまり「青空」は農業を指しているのだと思います。玉枝

これはこの場に当事者はいないのだから、自分というより成りすましといつか、自分がいないわけで、この作品は文字の中に私がいる、五七五のなかに私がいる。この世界の私。句の中に私がいるかどうか、私がいる川柳。私がない川柳、みんなの思いを拾い上げる客観性、のどちらがいいのだろうかという議論があります。倫也・ELVIS

作者 現在高三の担任をしています。就職の現状が厳しいものがある。そうだったことや農家のお子さんのことを頭に詠みました。

実りある婚姻実りある死別 ELVIS
句意としては判るが死別という言葉に抵抗がある。

こいし

婚姻と死別に落差があって面白いと思うが。帆波
作者 言葉の中で世界を見ていく。表現の世界では常識の世界と照らし合わせないで作ってみる。共感性とは離れる

歯が抜けた日のハハキトク チチキトク 帆波

歯が抜けると言葉がスースーする。カタカナが歯が抜けたときの言葉を表しているようで面白い。正

音に関係している。歯が抜けたのは「ハハキトク」は、「キトク」はリフレインしている。h音が読んだ時に奇妙な感慨を感化させる仕掛けがあるのでは。今も電報があるが、この文面は昔を感じさせる。哀しいという言葉を使わないでそんな感情を感じさせる。ELVIS
歯が抜けたことと、両親が同じ日に亡くなるのだろうか、結びつきが解らない。倫也

そういえばあの時も、という思いなのだろうか。字面で見ただけは判るが、普通に読んだ場合どうだろうか。品子
「ハハキトク」「チチキトク」が二通とも届いたのだろうか。そこが判らない。どちらかの文面だけでうまくできなかったのだろうか。睦悟朗

自身が老人であることを詠んでいるのでは。「ハハ」はそれに掛けているのでは。三十六

歯が抜ける夢を見る。歯が抜けることに恐怖感がある。不吉なことの例としての「ハハキトク」「チチキトク」だろう。困扇

悲しい句である。子供が生きているのに、世を儚んで母親と父親が心中することもある。竜雄

作者 歯が抜けるのは不吉な夢。親と離れて暮らしていて、歯が抜けた夢を見たときに、もしかして母の身、父の身に何か起こったのではという思い。音としての「ha」「キトク」の重ねは不吉な暗示を生むために意識して作り出した。

みんなしてせまいニッポンとりにくる 恵泉

優しい言葉で表現し、よく分かって、かつ辛らつなところがある。最近のニュースを上手に詠まれている。竜雄
中国とロシアのことだと思いました。玉枝

領土を「取りに来る」は人間だからする。動物はしません。「領土って何だ取ったり取られたり」という句を詠みました。こいし

作者 狭いニッポンそんなに急いで何処へ行くのパロディ

イー。

勿体無いがチャペルホテルと間違える 困扇

写真の仕事でラブホテルの撮影をしたが、数々の奇抜なホテルを思い出した。倫也

結婚式場とホテルが一緒になっていたり、斎場も含めせ

モ二ができる施設か。帆波
「勿体無いがチャペルとホテル間違える」ではどうか。

三十一

作者 皆さんがどのような感想を話されるか見たかった。ホテルかと思えばチャペル。チャペルかと思えばホテル。白いのと無いのを競うクラス会 絵扇
白いの、無いのは読み手それぞれが考えることと、私は取った。競うは、きつすぎるかと思ったが面白いです。

以呂波

クラス会でのご挨拶だと思いました。桃葉
「白と無い」の組み合わせをどう解釈すればよいのか判らなかつた。朔太郎

最初白と無いが判らなかつた。和子
頭髪のことだと思うが、「高齢でのクラス会で、且つ、男性の参加者が多いという状況を思つと、その多くが元気で参加されているということ、ある意味幸せな状況だと思つた。帆波

作者 頭髪のことです。クラス会での会話

人間もいずれ必ず塵芥 ゆづ子
「いずれかならず」と言い切っているところに惹かれました。以呂波

人間は塵芥ではなく地球に戻るのではないだろうか。こいし

作者 御棺に入れられて焼かれてゆく、そのことを表現したかった。

厚化粧持て余してるマニフェスト 利江

マニフェストを使った句が多く句会でも出てくる。厚化粧がいい。竜雄
マニフェストの句がいろいろありますが、厚化粧という表現がいいです。品子

作者 今子供手当や八ッ場ダム等右往左往している政府を詠んでみました。



課題吟「骨」 植竹団扇選

おもしろい作品が沢山ありました。まず骨の部位、あばら骨、鎖骨。そして骨太、理科室の標本、骨粗鬆症、散骨、骨拾う、骨の無いタコ、無駄骨、デブ・痩せ 屋台骨 動物の骨ガラ 骨がらみ 今回は似た発想の句で取った句、取らなかつた句の差はほとんどありませんでした。私の感覚において半歩ほどの差をつけたという認識をしていただければ幸いです。
コメントは団扇です。

「特選」

風呂上り鎖骨の窪み人を恋う ゆづ子

骨は色んな表情がある。人間は立ち上がったときに、手が自由になった。その上で鎖骨というものは大変意味を持っている。四本足で歩く動物にはない機能。

軸 とげ抜きの際で骨を抜かれてる 団扇

以上 まとめ 松橋帆波

「佳作」

鶏ガラに拘る父の中華そば こいし

父はプロの調理人ではない。中華そばの鶏がらに拘るのは母ではなく父なのだ。

骨がない蛸は蛸なり世を渡る 正

骨太の男で外に子を作り 竜雄

関連は判りませんが、骨太の男が居り、外で子を作ったのです。

理科室の骨創始者のものらしい 帆波

現在は作り物です。でも本物の骨が理科室にあるとは恐ろしいですね。

父に似た形に老いる僕の影 帆波

形は骨格のこと。骨格が似ていると声も似てくる。父から骨を貰い、母から肉を貰う。

定年後頭も骨もカラになる 恵泉

骨粗鬆症は骨が空になる。年をとると頭も空になる。人のことではなく、自分の事である。

貶すのが武骨な父の誉め言葉 以呂波

されこつべ蹴ってサッカーした太古 まもる

サッカーは髑髏を蹴ったのが起源だといわれています。

無駄骨も私の骨の一部です 三十六

無駄骨という骨は本当の骨ではないが、それも体の一部だという面白さ。

骨粗鬆症を齧って手当てする 倫也

骨粗鬆症には骨を摂るのがいいとされている。一番いいのはやはり人骨か。ブラックユーモア。

「秀句」

私小説詰まった骨を子が拾う ELVIS

うまく比喻が入っている。

骨壺を抱くハイヤーの熱い膝 芳夫

火葬後の骨壺は大変熱いです。

秋つらら散骨日和かもしれぬ ゆづ子

散骨の作品は沢山ありましたが、この作品をいただきました。散骨はサラックとしているイメージ、その上で「この作品」